

H30

アクションプラン全体計画（平成28～32年度）

推進項目	23 受益者負担の適正化				重要度	A			
番号・取組事業名	23002	駐輪場定期利用使用料・利用料金の見直し	作成日	H30.4.1	更新日	H31.3.31			
担当部署	120700	土木部 交通施設課	責任者	星 雅之	担当者	自転車対策担当			
取組年度	H28	～	H30						
効果	歳入増加	その他改善							
最終目標	駐輪場定期利用料・利用料金の見直しを図ることで、10年後を目安に駐輪場運営について受益者負担率を100%にする。								
年度	区分	取組内容・目標							
平成28年度	遅れている	平成27年度に実施したパブリックコメントや協議会での意見、指定管理者との協議を重ね、受益者負担を意識した具体的な料金体系を検討した。							
平成29年度	計画どおり	駐輪場利用者へのアンケート及び新料金の掲示による意見聴取を行うとともに、協議会での有識者の意見を取り入れ最終的な料金案を決定した。							
平成30年度	完了 (事業終了)	平成30年度定期利用分より新料金体系を導入した。							
平成31年度									
平成32年度									
成果指標	指標名	駐輪場使用料および駐輪場管理納付金の増加					単位	千円	
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	最終値	
	当初計画値		53,703	88,000	88,000	88,000	88,000	88,000	
	変更計画値	56,677		55,069	88,000	88,000	88,000	88,000	
効果額	実績値		52,138	51,350	65,678			0	
	歳入増加	当初計画額	56,677	△ 2,974	31,323	31,323	31,323	31,323	122,318
		変更計画額			△ 1,608	31,323	31,323	31,323	89,387
		実績額		△ 4,539	△ 5,327	9,001			△ 865
	歳出削減	当初計画額							0
		変更計画額							0
		実績額							0
	計	当初計画額	56,677	△ 2,974	31,323	31,323	31,323	31,323	122,318
		変更計画額		0	△ 1,608	31,323	31,323	31,323	89,387
		実績額		△ 4,539	△ 5,327	9,001	0	0	△ 865
見込まれる その他効果 (金額以外)	各駐輪場ごとの収容率を平準化させる。								

H30

アクションプラン(平成30年度)

推進項目	23 受益者負担の適正化				重要度	A		
番号・取組事業名	23002	駐輪場定期利用使用料・利用料金の見直し	作成日	H30.4.1	更新日	H31.3.31		
担当部署	120700	土木部 交通施設課	責任者	星 雅之	担当者	自転車対策担当		
	区分	取組内容・目標						
平成30年度	完了 (事業終了)	平成30年度定期利用分より新料金体系を導入した。						
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
1	新料金体系の実施開始			○	○	○	○	
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
進捗								
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	今年度より駐輪場定期利用に係る使用料・利用料金の改定により料金体系が大幅に変更となったが、利用者に大きな混乱はなく、特に階層別料金によりこれまでと異なる管理となった建物の駐輪場においても、適切に駐輪場業務が行われている。				
進捗・実績								
年度末	成果指標名	駐輪場使用料および駐輪場管理納付金の増加	計画値	単位	千円	実績値	単位	千円
				88,000			65,678	
	達成状況【成果】	一部達成	コメント	これまでの利用者数から成果指標の計画値を設定したが、民間駐輪場の増加及び、通勤・通学手段を他の公共機関へ変更したことによる駐輪場利用者の減少、料金改定に伴う指定管理者の支出の増加等により、目標値を下回ることとなった。アクションプランは終了するが、今後は、将来の自転車需要量を予測し、各駅ごとの駐輪場の適正配置を検討すること等により、受益者負担の適正化を図る。				
	進捗状況【活動】	完了 (事業終了)						
計画変更 (次年度以後)	取組内容		コメント					
	計画値							
評価	評価者	鬼沢 徹雄	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする					
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	今後の自転車需要量の予測や動向等を分析して、駐輪場の適正配置の検討を進めながら受益者負担の適正化に努められたい。				
	方向性	完了 (目的達成)						

H30

アクションプラン全体計画（平成28～32年度）

推進項目	23 受益者負担の適正化					重要度	A	
番号・取組事業名	23003	学校体育施設の受益者負担等見直し		作成日	H30.4.1	更新日	H31.3.31	
担当部署	280200	生涯学習部 スポーツ課		責任者	小貫 省三	担当者	推進担当	
取組年度	H28	～	H32					
効果	歳入増加							
最終目標	体育施設の利用促進を図るとともに、他制度(目的外使用)との整合性を図ったうえで、学校施設開放対象校全校において受益者負担の導入を行なう。							
年度	区分	取組内容・目標						
平成28年度	計画どおり	目的外使用所管課との協議。他市事例等を参考に検討。						
平成29年度	計画どおり	制度運用の一元化について、学校教育部と協議。管理・運営方法について実態調査。						
平成30年度	計画どおり	制度運用の一元化について、学校教育部と協議。管理・運営方法の見直し。						
平成31年度	実施	施設個別計画策定と制度運用の一元化について教育委員会へ議案提出。						
平成32年度	完了	前年度方針を踏まえた一元化の運用を開始する。						
成果指標	指標名	受益者負担制度導入学校数					単位	校
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	最終値
	当初計画値		0	0	63	63	63	63
	変更計画値	0			0	0	64	64
実績値		0	0	0			0	
効果額	歳入増加	当初計画額						0
		変更計画額						0
		実績額						0
	歳出削減	当初計画額						0
		変更計画額						0
		実績額						0
	計	当初計画額	0	0	0	0	0	0
		変更計画額	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	0
見込まれる その他効果 (金額以外)								

H30

アクションプラン(平成30年度)

推進項目	23 受益者負担の適正化				重要度	A			
番号・取組事業名	23003	学校体育施設の受益者負担等見直し	作成日	H30.4.1	更新日	H31.3.31			
担当部署	280200	生涯学習部 スポーツ課	責任者	小貫 省三	担当者	推進担当			
	区分	取組内容・目標							
平成30年度	計画どおり	制度運用の一元化について、学校教育部と協議。管理・運営方法の見直し。							
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
1	学校開放利用と目的外使用の制度について、目的外使用所管課と協議			○	○	○	○		
2	金額の根拠や徴収方法、団体用件などの制度運用面の検討			○	○	○	○		
3	学校施設開放運営委員会の管理・運営方法の見直し			○	○	○	○		
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	<p>学校開放運営委員会の運用方法や現状の課題についてアンケートを実施した。また、その結果を踏まえ、学校教育部と現状の課題や方向性について共通認識を図った。</p> <p>今後、自主的管理・運営の強化に向けた運営委員会のあり方、運営方法について、検討を進めていく。</p>					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	受益者負担制度導入学校数		計画値	単位	校	実績値	単位	校
					0		0		
	達成状況【成果】	達成		コメント	<p>学校開放については、開放事業と目的外使用の2方式により運営されており、制度の一元化を前提とした検討を行っているところである。</p> <p>平成30年度は、学校施設開放事業及び目的外使用等に関する学校アンケートを実施し、学校管理職や夜間開放、学校開放運営委員会などが抱えている問題点や課題について、現状の把握に努め、その結果や内容について、学校教育部と共有・共通認識を図った。</p> <p>また、学校施設開放の自主的管理・運営に向け、先進市(千葉市)への視察を行い、委託を含めた管理・運営方法等について調査・研究を行った。</p>				
	進捗状況【活動】	計画どおり							
計画変更(次年度以後)	取組内容	有		コメント	<p>平成30年度の取組みの結果、一元化の実現に向けての多くの課題を把握したため、平成31年度については、課題解決に向け更に調査・研究を重ねる期間としたい。まずは、開放事業の円滑な運営と学校管理職の負担軽減に向け、学校開放運営委員会の自主的管理・運営の強化と属性の調査、現状の整理を行う。</p>				
	計画値	無							
評価	評価者	鬼沢 徹雄		※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする					
	総合評価(A・B・C)	B		コメント 指示事項	<p>計画では、令和2年度には一元化による運営開始となっていることからすると、令和元年度には、関係団体等との協議、調整、また学校開放委員会との管理方法等の協議、調整を行い、まとめる必要がある。については、これまで以上にスピード感を持って進められたい。</p>				
	方向性	内容見直し							

H30

アクションプラン全体計画（平成28～32年度）

推進項目	23 受益者負担の適正化				重要度	B			
番号・取組事業名	23004	手賀沼エコマラソンの経費削減		作成日	H30.4.1		更新日	H31.3.31	
担当部署	280200	生涯学習部 スポーツ課		責任者	橋爪 良洋		担当者	推進担当	
取組年度	H28	～	H32						
効果	歳出削減								
最終目標	手賀沼浄化啓発、持続可能な市民マラソンとして定着していくため、大会運営に係る経費の削減と参加費とのバランスを調整し、適正な行政負担のあり方を検討していく。								
年度	区分	取組内容・目標							
平成28年度	計画どおり	新コースの設定。参加者（一般枠）の1,000名増員。大会の自主運営についての検討。							
平成29年度	計画どおり	参加者（一般枠）の1,000名の増員。大会参加費500円値上げ(5,000円)。大会運営費の精査。							
平成30年度	計画どおり	平成29年度と同様。(参加費5,000円)大会運営費の精査							
平成31年度	実施	参加費及び負担金の精査・検証							
平成32年度	完了	適正な大会参加費及び大会負担金の額を決定する。							
成果指標	指標名	開催市負担金の削減					単位	千円	
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	最終値	
	当初計画値	人口一人当たりの 負担金27円	—	4,500	4,500	4,500	1,000	1,000	
	実績値	11,010千円	—	0	0	0	3,600	3,600	
効果額	歳入増加	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
	歳出削減	当初計画額		0	6,500	6,500	6,500	10,000	29,500
		変更計画額	11,010		0	0	0	7,410	7,410
		実績額		0	0	△ 342			△ 342
	計	当初計画額		0	6,500	6,500	6,500	10,000	29,500
		変更計画額	11,010	0	0	0	0	7,410	7,410
		実績額		0	0	△ 342	0	0	△ 342
見込まれる その他効果 (金額以外)									

H30

アクションプラン(平成30年度)

推進項目	23 受益者負担の適正化				重要度	B			
番号・取組事業名	23004	手賀沼エコマラソンの経費削減	作成日	H30.4.1	更新日	H31.3.31			
担当部署	280200	生涯学習部 スポーツ課	責任者	橋爪 良洋	担当者	推進担当			
	区分	取組内容・目標							
平成30年度	計画どおり	平成29年度と同様。(参加費5,000円)大会運営費の精査							
取組項目					4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
1	大会事務局会議及び実行委員会議での協議				○	○	○	○	
2	負担金支出の考え方について検討				○	○	○	○	
3	大会経費の見直し等(参加者人数, 参加費など)や大会委託経費の見直しによる削減				○			○	
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	<p>昨年の参加者枠の増員と参加費の増額の効果や参加者などへの影響, 反響を注視した。その結果を踏まえた, 大会運営に係る収支を検証し, 負担金の適正化・透明化・具現化を図るとともに, 負担金の考え方についても我孫子市や実行委員会と協議, 共通認識を図っていく。</p>					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	開催市負担金の削減		計画値	単位	千円	実績値	単位	千円
					0			0	
	達成状況【成果】	達成		コメント	<p>昨年度, 受益者負担と自主運営の観点から, 参加料を500円増加の5,000円とし, また, 一般参加者枠を1,000人増員した。今年度は, その効果や影響を注視した結果, リピーターが定着しており参加者は微増であった。引き続き, 受益者負担とのバランスや考え方を整理して, 我孫子市や実行委員会と協議しながら見直しを図っていく。</p>				
	進捗状況【活動】	計画どおり			<p>次年度は, 大会運営に係る過去3年の収支を精査・検証し, 負担金の適正化・透明化・具現化を示すものとする。</p>				
計画変更(次年度以後)	取組内容	無		コメント					
	計画値	無							
評価	評価者	小貫 省三		※重要度A事業は副市長, 重要度B事業は部局長を評価者とする					
	総合評価(A・B・C)	B		コメント 指示事項	大会運営に係る経費や受益者負担の金額を精査し, 適正な負担金額を算出することを求める				
	方向性	継続実施							